

令和3年10月15日

「全国学力・学習状況調査」の結果概要と今後の取組について

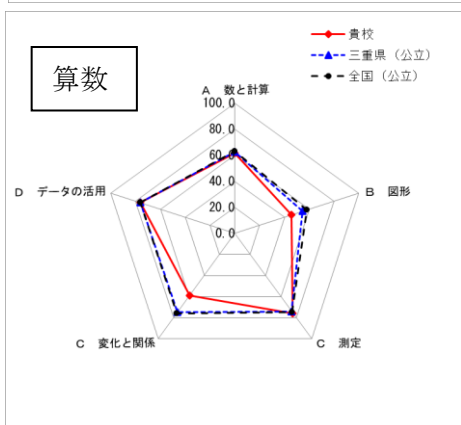
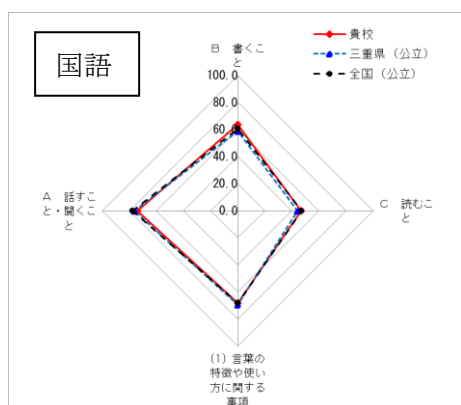
本年5月に、6年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果概要について、本校の児童の学力の定着状況、学習状況、生活習慣等の分析結果や今後の取組についてまとめましたので、2回に分けて報告いたします。この調査は、児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立て、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立すると同時に、学校・家庭・地域が一体となって子どもを育てる上で大変重要と考えます。ただし、調査により測定できるのは学力の一部であることも考慮し、今後の本校の教育活動に生かしていきますので、引き続きご家庭でのご協力をよろしくお願いいたします。

《平均正答率の状況》

平均正答率	国語	算数
本校	64	65
三重県	64	69
全国	64.7	70.2

《平均正答数の状況》

平均正答数	国語	算数
本校	9.0問/14問	10.4/16問
三重県	9.0問/14問	11.1/16問
全国	9.1問/14問	11.2/16問



国語においては、全国・三重県の平均正答率とほぼ同じ、算数においては4～5ポイント下回りました。国語の「言葉の特徴や使い方に関する事項」の領域は、全国・三重県の平均正答率を上回る傾向にありましたが、「読むこと」「書くこと」の領域が、全国・三重県の平均正答率に達していません。また、算数の「測定」「データの活用」の領域において、全国・三重県の平均正答率を上回り成果がみられますが、「図形」「変化と関係」の領域では、全国・三重県の平均正答率から大きく隔たりがあります。これらのことから、国語においては、特に「読むこと」「書くこと」に対する力をつけていくことを重点的な課題であると捉え、授業改善や読書活動の推進に取り組みます。算数においては、「図形」を正しく理解する力、「速さと道のりと時間」の変化を正しく理解する力を喫緊の課題であると捉え、授業改善に取り組みます。また、学力の積み上げにかかわって、今年度全校で取り組みはじめた「読み上げ算」や、家庭学習の浸透が基礎基本の定着に大きく成果をあげると考え、継続していきます。本校は平均無回答率が低く、最後まであきらめずに頑張ろうとする傾向が見られるので、その良さを生かして、全体的な学力向上につなげたいと考えます。

「児童質問紙」の調査結果より

今年度の結果に2年前の本校の結果を照らし合わせて表示しました。表中の数値は、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合です。

	R1 本校	R3 本校	三重県	全国
<学習時間等>				
④家で、自分で計画を立てて勉強していますか。	43.4	○59.1	72.8	74.0
⑤平均1日当たり1時間以上勉強をしていますか。	65.2	▲54.5	59.6	62.5
⑥普段10分以上読書を読みますか。	78.1	▲54.5	74.4	76.0
<自尊意識>				
⑦将来の夢や目標をもっていますか。	73.9	◎95.5	79.3	80.3
⑧自分には、よいところがあると思いますか。	91.3	△77.2	76.0	76.9
<地域に対して>				
⑪地域の行事に参加していますか。	85.8	◎100	65.7	58.1
⑫地域や社会をよくするために何をすべきか考えますか。	57.2	▲9.1	50.7	52.4
<学習姿勢>				
⑬相手の考えを最後まで聞き、自分の考えを伝えていましたか。(R1 話し合う活動を通して)	66.7	◎86.4	82.8	82.6
⑭課題の解決に向けて、考え、取り組みましたか。(R1 解決方法を決める+努力して取り組む)	71.4	◎81.8	78.2	78.2
⑮考えがうまく伝わるよう、資料、文章、文の組み立てを工夫しましたか。(R1 情報の整理と発表)	42.9	▲31.8	62.5	63.5

△：R1よりー ▲：R1よりー&全国・三重県よりー ○：R1より+ ◎：R1より+&全国・三重県より+

家庭学習を計画的に行うことは改善されていますが、三重県・全国との差が大きく開いており、自発的な学習を進めることに課題があると考えます。また、読書活動が大きく下回っています。これは国語力の低下にもつながると考えられます。

将来の夢や希望をもっている子どもの割合が増加し嬉しいことです。人のために働きたい、やろうと思ったことは最後まで頑張ろうとする児童も多く、校内でも児童が主体的に活動する場面を保障しています。一方、失敗を恐れたり、人と違うこと、抜きんでることを嫌がったりする傾向も見られます。普段は学校で楽しく過ごしているように見えますが、友達関係や学習で悩んでいる児童も見られ、注意して見ていく必要があります。

授業では人の意見を最後まで聞くことを大切にしてきた「学び合い」の授業の成果があると思われる。しかし、全体で自分の意見をうまく伝える表現できていないこともあるため、さらに、話しやすい雰囲気づくりも整え、自発的に取り組める工夫が必要です。

今後も、地域の方や専門家を講師として招聘することによるキャリア教育を引き続き充実させたり、体験的な活動に力を入れることで、子どもたちの意欲・関心をさらに高めるとともに、地域の素晴らしさや課題の再発見ができるよう教育活動を工夫してまいります。

◆◇保護者のみなさんへお願い◆◇

今後も、ご家庭と連携しながら子どもの自発的な取組を進めていきたいと思っております。ご家庭ではメディア利用のルールを決めていただくなどして、机に向かう時間の確保をしていただくとありがたいです。また、新聞(ニュース)や読書など、いろいろな文章を読むことを通して、興味深い話題を取り上げ、会話をしていただくとありがたいです。引き続き、学校の教育活動に御支援、御協力どうぞよろしくお願いいたします。